

修道中学校を受験する〇〇君へ

〇〇君、毎日寒いけど元気ですか？

修道中学校長の田原です。

今〇〇君がこのウェブのメッセージを読んでいるということは、休憩時間ですね。

少し頭を休めて、ゆっくり私のメッセージを読んでください。

私立中学受験…。つらいですね。

小学生の時期になぜこんなに苦しい思いをしなくてはいけないのか？

〇〇君はその疑問に答えられますか？

私の考えた答えは実に簡単です。

〇〇君のためです。

もちろん修道に合格するために苦しみに耐えて頑張っているわけですが、

実はそれだけではないのです。

合否の結果は私からみるとそんなに大切なことではありません。

また、今、〇〇君が結果を想像して心配したり不安になるのは全く意味のないことだと思っています。今は、とにかく苦しんで勉強することが大切なのです。

もし、今〇〇君が苦しくないなら、まだまだ勉強が足りないのです。

苦しかったら大丈夫です。安心してください。絶好調です。

なぜ勉強に苦しむことが大切なのか？

わかりやすく説明するために、修道の卒業生のお話をしましょう。

〇〇君も知っている人物がいるかもしれませんが、修道の卒業生には、世の中の様々な分野でリーダーとして活躍している人たちがたくさんいます。

その卒業生たちに共通していることは、みんな大人になっても猛勉強しているということです。何歳になっても自分の仕事や自分の教養を高めるために、毎日コツコツといるんな勉強をしているのです。そうしないとリーダーとして通用しないのです。

頭の良い〇〇君ならもう私の言いたいことがわかったはずです。

〇〇君は、「試練」という言葉を知っていますか？

「試練」とは、決心などの強さを厳しく試すこと、また、その時の苦しみを意味する言葉です。今、〇〇君がしている苦しい努力は、将来自分の夢を実現し、世の中のリーダーとして活躍する立派な大人になりたいという〇〇君の決心が試されているのです。この「試練」を乗り越えれば、〇〇君も一生自主的な勉強を継続できる能力を身につけ、世の中で活躍している修道の卒業生と同じように、いやそれ以上に、将来、向上心のあふ立派な大人に成長すると思います。

もう一度言います。中学受験は、〇〇君の最終目的を達成させるための「試練」です。

〇〇君が、自分自身を自分で試しているのです。

自分に負けないように頑張ってください。「試練」に耐えてください。

今、〇〇君が苦しんで勉強している、このこと自体に価値があるのです。

さあ、〇〇君、休憩時間は終了です。

自信を持って苦しんでください。

1月25日（土）、「試練」を乗り越えた〇〇君を待っています。

修道中学校の全教職員を代表して、〇〇君にエールを送ります。がんばれ！！